

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	生活困窮者自立支援事業		担当部署	健康福祉部 社会福祉課	
総合計画体系			根拠法令計画など	生活困窮者自立支援法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="28"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		低所得者福祉			
施策	6	低所得者福祉の推進			
基本事業	2	低所得者福祉の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	①生活保護受給世帯、②市自立相談支援センター相談者が属する世帯、③ひとり親世帯のうち非課税世帯、④児童養護施設入所者世帯、⑤その他市長が認める世帯のうち、保護者から利用申込があった家庭の中学生とその保護者 生活困窮者の自立支援の一環として、必須事業(自立相談支援事業、住居確保給付金)につづき、任意事業である子どもの学習支援事業を実施することとなった。学習支援事業において、生活保護受給世帯等の生活困窮者である中学生を対象に、学習支援やさまざまな交流活動を実施し、子どもたちの学力向上と、社会性や自立心を育むことによって、将来的な自立の素地を育成することを目標としている。														
事業計画	28年度に何を計画していたか	事業実施に必要な事業実施要綱の制定、委託事業者選定のためのプロポーザル審査会開催ならびに円滑な事業実施と参加者を募集すること。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習支援事業参加者</td> <td>—</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	学習支援事業参加者	—	25	30	35	40	人
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
学習支援事業参加者	—	25	30	35	40	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	事業実施要綱を制定するとともに、事業者公募によるプロポーザル審査会を開催し、委託事業者を選定した。 7月に事業を開始するとともに、対象者である生活保護世帯と鳴門子ども学園に参加意向を確認、また、参加者を増やすために、市内各中学校長のご理解をいただき、児童扶養手当受給世帯(そのうち非課税世帯が要件)に2回にわたり案内通知(157世帯)を送付した。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童扶養手当受給者、就学援助受給者へ事業案内通知(チラシ)の発送	—	1	1	1	回
	2		—				
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	学習支援事業参加者		—	16	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			64.0	—	—	—
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		未達成		

(千円)

財源内訳	平成28年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	13,840	0	0	0	7,365	21,205	
		補正予算額	0	0	0	0	0	0	
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0	
		全体予算額	13,840	0	0	0	7,365	21,205	
		決算額	13,640	0	0	0	5,566	19,206	
		繰越額	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費		
		0.1	0.0		713		19,919		

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	0	19,206	20,805	20,805	20,805
	うち一般財源	0	5,566	7,165	7,165	7,165
	人件費	0	713	713	713	713
	総事業費	0	19,919	21,518	21,518	21,518

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		16名の事業参加者の内、7名の中学3年生は全員高校進学を果たした。
	効率性	B:概ね効率的だった		ノウハウを持つ外部事業者に委託し、効率的に事業を行った。
②成果に対する評価	指標名	学習支援事業参加者		その参加条件等から周知が限られてしまい、結果参加人数も伸びなかった。
	目標	25	人	
	実績	16	人	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		事業参加人数は伸び悩んだものの、実際参加した子どもの反応はおおむね良好であり、参加人数については改善が必要なものの、継続していく価値はあると考える。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業参加者の増加が課題となるが、その参加条件等から一般的に広く周知を行うことが困難であるため、参加対象の条件拡大も含め方策の検討が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	関係部署(子どもいきいき課、学校教育課等)へ協力を仰ぎながら参加人数の増加に努めるとともに、参加対象の条件拡大も含め参加者を増やすための方策を検討していく。 保護受給世帯については、担当CWIによる定期訪問時等に本事業への参加を進めていく。			
	H30年度	29年度の実施状況に応じて必要な改善策を検討していく。			